

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/11/12

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.41	0.09
JPY/THB	0.2102	0.0005
USD/JPY	154.16	0.01
EUR/THB	37.55	0.19
EUR/USD	1.1582	0.0025
USD/CNH	7.122	-0.001
SGD/THB	24.92	0.10
AUD/THB	21.16	0.03
USD/INR	88.57	-0.13
USD Index	99.44	-0.15

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	4,116.3	-5.7
WTI (Oil)	61.04	0.91
Copper	10,827.0	31.0

Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,300.47	-5.79
NIKKEI (JP)	50,842.93	-68.83
DOW (US)	47,927.96	559.33
S&P500 (US)	6,846.61	14.18
SHCOMP (CN)	4,002.76	-15.84
DAX(GER)	24,088.06	128.07

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.556	0.027
10Y (THB)	1.811	0.029
5Y (USD)	3.713	0.000
10Y (USD)	4.116	0.000

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(2,439)	-1380.3
Bond net flow	(973)	-2018.0

*compared with previous day

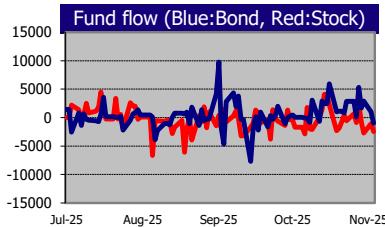
(Source: Bloomberg)



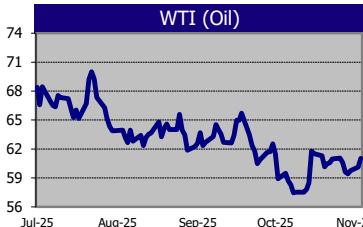
5Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)



10Y Bond (Blue/Left: THB, Red/Right: USD)



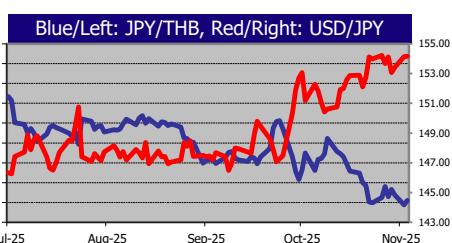
Fund flow (Blue:Bond, Red:Stock)



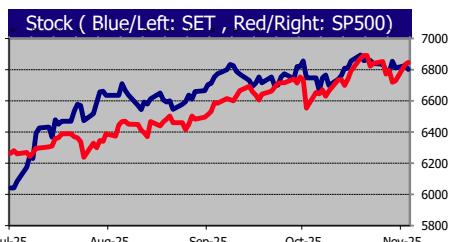
WTI (Oil)



USD/THB



Blue/Left: JPY/THB, Red/Right: USD/JPY



Stock (Blue/Left: SET , Red/Right: SP500)



THB strength against other currency
(90days ago =100)

Yesterday's market summary

●ドルバーツ

昨日のドルバーツは小幅に上昇。32バーツ台前半の水準で取引を開始すると、底堅い推移を見せ、バンコク時間正午にかけて32バーツ半ばまで上昇し、前日の下落を取り戻す展開に。海外時間、米国休日となる中で、同国労働関連指標の軟調な結果が確認されるとドルが弱含むも、勢いは限定的。直ぐに下落前の水準に戻し、そのまま32.41レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は方向感に欠ける推移。154円台前半の水準で取引を開始。米政府閉鎖解除もある程度相場に織り込まれた中、154円台前半から半ばにかけての狭いレンジでの推移が継続。海外時間、米労働関連指標の結果を受けて、一時153円台半ばまで下落する場面が見られるも、終盤にかけて水準に戻し、結局154.16レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

先週11/5(水)時点で過去最長となっていた米国の政府閉鎖については、トランプ大統領も政府機関再開の超党派合意を支持したとされ、早ければ本日の米上院通過、下院承認を経て再開が見込まれております。米国の信用への影響、あるいは経済的損失についても大きく試算されていたこともあり、このヘッドラインを受け米株が上昇するなど、グローバルにリスク選好度が強まっております。一方、タイ国内では、アユティン政権は経済回復と国境再開を急ぐ一方、ナショナリズムの高揚と保守派の圧力の板挟みにあり、外交方針が揺れております。一昨日11/10(月)にアユティン首相は地雷爆発によりタイ兵士が負傷したことを受け、カンボジアとの和平合意を一時停止すると発表し、カンボジア人捕虜の釈放停止を表明しました。これは先月マレーシアや米国の仲介により停戦合意や和平合意が図られ、重火器撤去や捕虜解放に向けた動きと逆行する流れとなっていました、一部では自身の「失言」による批判の挽回を狙った政治的な判断との見方も出ております。「失言」は先月マレーシアで開かれたASEAN関連首脳会議で起き、アユティン首相は現地で「カンボジアが我々の領土を侵略したと同時に、我々も相手を侵略した」とメディアに発言していました。一方、カンボジアも強硬姿勢を崩さず、両国国境付近にある別の寺院を巡る帰属問題も未解決であることから、停戦合意は極めて不安定な状況となっております。今後の行方は、仲介役のマレーシアやトランプ米政権の対応に掛かっているとみられますが、これをきっかけに地域情勢が再緊張することも懸念され、バーツ相場に影響があるか注視していく必要があります。(福島)